

# ごあいさつ

このたびは追手門学院大学附属図書館宮本輝ミュージアムにご来場いただき、誠にありがとうございます。

追手門学院大学の第1期生であり芥川賞作家でもある宮本輝氏は、大阪を舞台として展開される小説を数多く発表しています。「泥の河」や「道頓堀川」はよく知られていますが、本学における学生生活を描いた「青が散る」も忘れることができないでしょう。こうした小説の中に身近な土地を発見することも、宮本文学を楽しむ方法の一つです。

今回、企画展「宮本輝の大阪検定I」は小説に登場する大阪をクイズ形式で紹介することによって、宮本輝氏が描き出す多様な大阪の魅力を再発見していただきます。この企画展は、宮本輝ミュージアムと「なにわなんでも大阪検定」のコラボレーションによって実現しました。また、宮本輝ミュージアムと「地域文化創造演習」を履修する学生たちが、企画会議を重ねることによって内容を検討してきました。どちらも宮本文学の魅力を広く知らせる試みとして、大きく発展させていきたいと考えています。

今回の企画展に際しまして、多くの方々のご協力をいただきました。関係各位の多大なるご協力に感謝し、この場を借りて深くお礼を申し上げます。

宮本輝ミュージアム

プログラムディレクター 橋本裕之

( 追手門学院大学地域文化創造機構特別教授  
追手門学院大学社会学部教授 )